

伊吹山もりびとの会 活動報告

2019年度



- ◆ ボランティアガイド （お花最盛期の期間中、登山者への案内）
- ◆ 保全活動 （登山道の整備・お花畑の維持管理・外来種駆除）
- ◆ 自然観察会 （四季に合わせた草花の紹介と案内）
- ◆ 研修会 （会員相互の知識向上と親睦）
- ◆ 調査・研究 （保全作業に向けた花の分布や生育環境調査）
- ◆ エコツアーガイド （要請のあるツアー旅行にガイドを派遣）
- ◆ 米原市教育委員会への野外活動応援（小中学生の登山ガイド）

	1～3月	4月	5月	6月
ボランティアガイド 保全活動 自然観察会 研修会		<ul style="list-style-type: none"> ●再生地フェンス調査 4/15(月) ●表登山道8合目安全確保作業 4/26(金) 	<ul style="list-style-type: none"> ●表登山道鉄杭・ロープ設置 5/8(水) ●シモツケソウ再生地保護柵補修 5/15(水) 5/16(木) 5/22(水) 5/23(木) 5/27(月) 5/31(金) ●自然観察会(山頂) 5/16(木) 	<ul style="list-style-type: none"> ●山頂西洋タンポポ除草イベント 6/1(土) ●表登山道補修・山頂西洋タンポポ除草 6/5(水) ●西洋タンポポ・ヒメジョオン除草 6/13(木) ●西洋タンポポ除草 6/17(月) ●山頂一帯・各登山道危険箇所調査 6/20(木) ●自然観察会(山頂) 6/20(木) ●擬木撤去 6/25(火)
その他	1/23 再生協議会部会 1/27 ①理事会 2/10 ②理事会・会計監査 3/16 ③理事会 3/18 再生協議会 3/24 総会・④理事会	4/11 レイカディア大学PR 4/27 ⑤理事会	5/9 セイウタンポポ除草イベント広報 ◆エコツアーガイド	6/15 ⑥理事会 ◆エコツアーガイド

	7月	8月	9月	10～12月
ボランティアガイド	●夏の山頂 ボランティアガイド 7/21(日)～8/4(日)			●シモツケソウ再生地ネット卸し 10/7(月)
保全活動	●山頂南斜面防護杭補修など 7/3(水)	○山の日イベント 8/11(祝)	●シモツケソウ再生地保全作業 9/4(水)	●シモツケソウ再生地ネット卸し 10/9(水)
自然観察会	●シモツケソウ再生地パネル設置 7/17(水)	●自然観察会(山頂) 8/18(日)	●シモツケソウ再生地外来植物除 9/17(火)	●東登山道ロープ撤去ほか 10/16(水)
研修会	●夏のボランティアガイド事前研修 7/14(土)		●山頂部ドリーネ調査 9/18(水)	●東登山道ロープ撤去 10/23(水)
	●自然観察会(山頂) 7/21(月)		●東登山道擬木調査 9/24(火)	
			●東登山道擬木調査 9/25(水)	
その他	7/1 保全活動打合せ 7/2 米原市観光協会総会 7/15 3合目ユウスゲまつり 7/19 再生協議会 ◆エコツアーガイド	8/25 ⑦理事会 ◆エコツアーガイド	9/15 ⑧理事会 ◆エコツアーガイド	10/31 再生協議会部会 11/24 ⑨理事会 11/24 活動慰労会 12/8 ⑩理事会

保全作業報告

令和元年 6月 1日 伊吹山もりびとの会

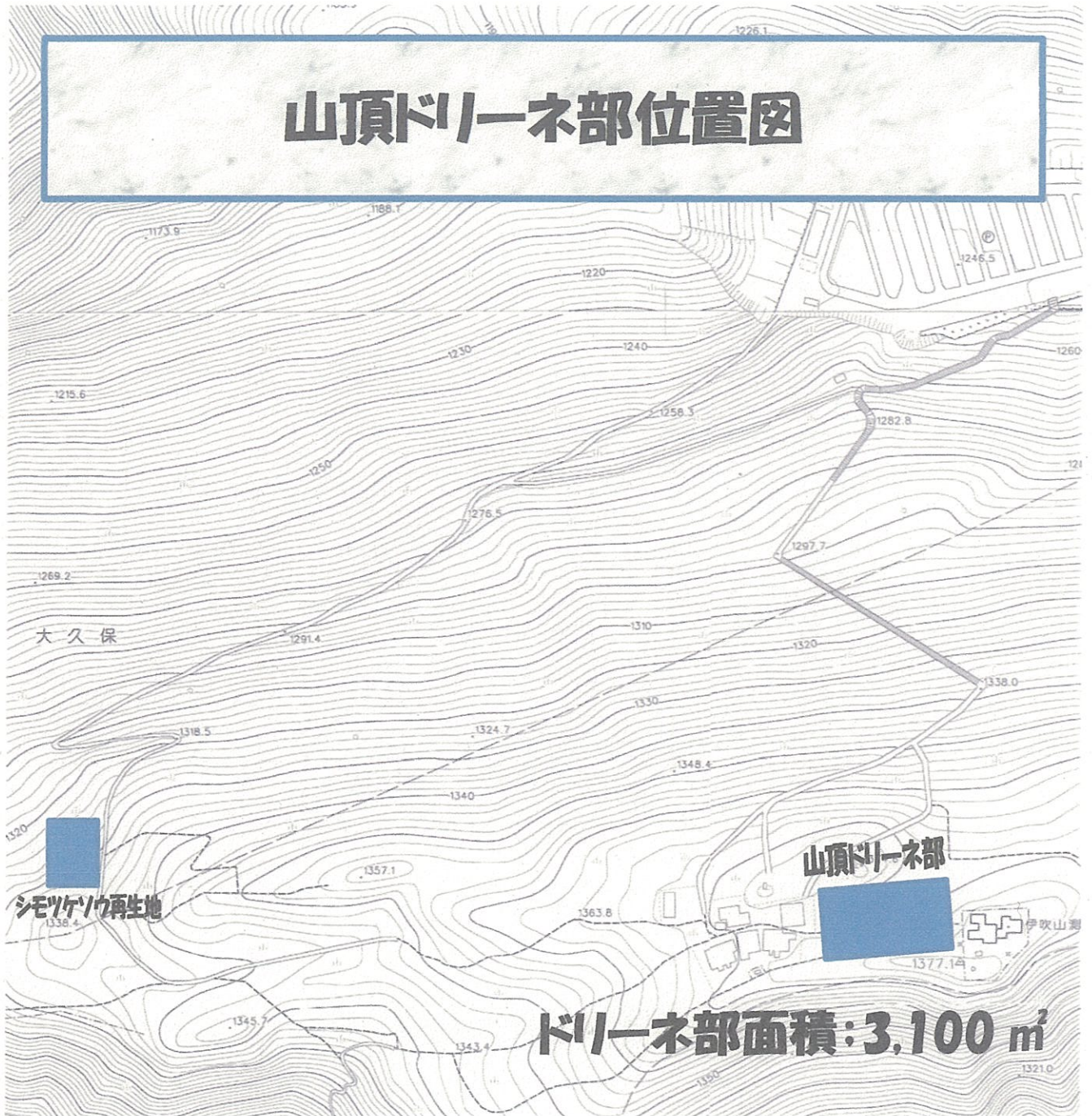
実施年月日	令和元年 6月 1日	報告者	犬飼義隆
作業名称	西洋タンポポ除草イベント		
作業場所	山頂一帯、西登山道、中央登山道		
作業時間	8時30分～14時	集合場所	ジョイ伊吹駐車場
参加者名	参加者 48名 (もりびとの会・・・20名 一般・・・28名) 送迎バス (みゆき観光) 1台 車稼働者 藤井文雄・松井淳二 (軽トラック)・犬飼義隆		
作業内容	<p>集合場所 (ジョイ伊吹) 8:30 集合でイベントのスタート、車内で西澤代表から挨拶、続いて宮部副代表より西洋タンポポとイブキタンポポの相違についてレクチャー。DW山頂駐車場到着後、作業用具を配布し山頂へ向かう。10:30 より4グループに別れ山頂一帯の除草作業開始、参加者が予想以上に多かった事と西洋タンポポの数が少なかった事で、作業が早く終わったため、11:30 より昼食 (対山館に依頼してあった豚汁を振舞う)</p> <p>午後の作業は 12:15 より中央・西登山道とDW山頂駐車場周辺の西洋タンポポの除草作業を実施。作業は 13:45 頃終了し、全員で採った西洋タンポポの計量を実施、結果は昨年より少ない 75.3kg であった。最後に全員の集合写真を撮りイベントを終了した。</p>		
使用用具 使用材料	トング×30・鎌×18 膝あて×48 手袋×48 ごみ袋×48 ばね秤		
作業写真			

保全作業報告書

令和元年 10 月 16 日
伊吹山もりびとの会

実施年月日	令和元年 10 月 16 日	報告者	犬飼 義隆
作業名称	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東登山道わきのロープの撤去作業（来年度予定の先行作業） ・ 山頂ドリーネ内の植生調査 ・ シモツケソウ再生地付近のアカソに関する植生調査 		
作業場所	東登山道・山頂ドリーネ内・シモツケソウ再生地付近		
作業時間	9 時～ 14 時	集合場所	伊吹山ドライブ自販機前
参加者名	藤井文雄・山本等・宮部道雄・松井淳二・谷口英二・湯浅盛和・田中照美・犬飼義隆・OP 佐藤憲正（山本さんの友人） 車稼働者 藤井文雄・山本等・犬飼義隆		
作業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度予定の東登山道の擬木の補修作業及びロープの張り替えに伴う事前作業として本年ロープの撤去作業を実施。（今回は駐車場より白山神社付近まで実施、残りの山頂までは 23 日実施予定） ・ 山頂ドリーネ内の植生回復計画実施を前に、ドリーネ内の植生の調査を米原市の了解を得て実施。ドリーネ内の 2 か所で 2m×2m の範囲を 2 か所選定し実施。この調査は来年も引き続き実施していく。 ・ 西登山道脇のシモツケソウ再生地より 13m 程下方の谷側のアカソ群落で 2m×2m の範囲のアカソを刈取り・むしり取りを実施しアカソの越冬芽の追跡調査を実施していく。 		
使用用具	クリッパー・ニッパ・カッター・ハサミ・背負子・廃材収納袋・巻尺 トング・用地境界杭・ロープ		
作業写真			

山頂ドリーネ部位置図



新たにとりくむ山頂ドリーネ部では

- 掘り起しはしない。(現状の植生は保護する)
- シモツケソウはシモツケソウ再生地奥の群生地より株分け移植
- 外来植物(ヒメジョオン等)は除草をおこなう。



イメージ画像

伊吹山山頂お花畑経年画像



2018.7.25撮影



2017.7.31撮影



2015.8.5撮影



2014.8.4撮影



2013.8.2撮影



2012.8.9撮影



2011.8.10撮影



2010.8.6撮影

伊吹山山頂ドリーネの植生回復計画

場所： 米原市上野 1855-28 (所有：上野区 管理：伊吹財産区)

面積：3,100 m² (周囲 220m) 別紙

滋賀県最高峰の伊吹山は「日本百名山」でかつ「花の百名山」である。
当該場所は「琵琶湖国定公園」の第2種特別地域であり、国指定の天然記念物
「山頂草原植物群落」の場所からは除外されている。

植生回復計画で主たる内容

- (1) シモツケソウの移植
- (2) 山頂周辺で採取した種の散布

ここで問題となるのは(1)のシモツケソウの移植である。ドリーネ内のシモツケソウは少量で小さな株であるため、株分けによる移植には適していない。シモツケソウの移植苗を、西登山道沿いにある「シモツケソウ再生地」から得ようとする計画である。その「シモツケソウ再生地」は、植生分布図では、「人口改変地」と位置づけられている。

獣害によるお花畑の衰退、温暖化の影響等により、荒れ果てたお花畑になってしまっている。獣害対策は、「伊吹山を守る再生協議会」による模索が続いていて、近い将来解決されると期待している。しかし、「伊吹山を守る再生協議会」で当初に目標としていた「昭和30年代後半の伊吹山を目指す」とした理念からは、程遠い現状をどうにか出来ないものか。

【 参 考 】

- (1) シモツケソウの密度
西登山沿いのシモツケソウ再生地 (約 900 m²の内 400 m²に開花)
1500 株の密度は 3.8 株/m² (ここではシモツケソウだけに見える)
計画地 3000 m²に 3000 株 (イブキジャコウソウ群落 100 m²を除外) ではシモツケソウ畑にならない。(全面がピンクにならない 1.0 株/m²)
- (2) 尾瀬の水芭蕉の復元事例
平地で育苗した苗を購入して国立公園内の自生地へ植え込んでいる。
- (3) 移植する量
3000 m²を 3ヶ年計画として 1000 m²/年
年間 5 日間 5~6 名/日稼働として 200 m²/日の作業が可能
- (4) 苗の取得量
大株 1 株当たり 5~6 株の苗が得られる

苗は2人で日量200株が限度である(1000株の苗を得るには200株の大株を株分けすることになる)

【 問 題 点 】

1. 苗の取得地が「琵琶湖国定公園」の特別保護地区であり、国指定の天然記念物の人工改変地から得られるか。
域内移植の考え方が適用できるか
2. 防鹿ネットの必要性
完全に鹿の侵入を防げるまでの期間をどうするか
3. 復元期間3年の妥当性
作業に3年 お花畑完成まで5~6年が必要
4. 除草した外来種の処理
持ち出し 路上踏みつけ 現場に拡散放置

2020年度 保全作業計画(案)

2019.10.30現在

月別	実施事項	人数	日数	作業区分	助成金可否	備考
4月	表登山道鉄杭柵・ロープの設置	6名	1日	4	○	
	山頂ドリーネ内の植生調査・アカソ群落植生調査	4名	1日	1	×	
	シモツケソウ再生地ネット設置	6名	5日	4	△	
	西・中央・東登山道の危険個所の点検	4名	2日	1	×	
5月	西・中央・東登山道の危険個所の補修	5名	3日	3	×	
	東登山道纜木補修及びロープ設置作業	6名	6日	4	○	
	山頂ドリーネ内の植生調査・アカソ群落植生調査	4名	4日	1	×	
	西洋タンポポ・外来植物の除草作業	5名	3日	3	○	
6月	各登山道/パトロール(ごみ拾い及び外来植物除去作業)	3名	2日	3	○	
	西洋タンポポの除草作業イベント	50名	1日	3	○	
	山頂ドリーネ内のシモツケソウ移植(シモツケソウ再生地奥より)	6名	5日	4	△	
	山頂ドリーネ内の植生調査・アカソ群落植生調査	4名	1日	1	×	
7月	各登山道/パトロール(ごみ拾い及び外来植物除去作業)	3名	2日	3	○	
	ポランティアガイド	6名	15日	3	○	
	シモツケソウ再生地除草	6名	1日	3	○	
	山頂ドリーネ内の植生調査・アカソ群落植生調査	4名	1日	1	×	
8月	各登山道/パトロール(ごみ拾い)	3名	2日	1	×	
	各登山道/パトロール・シモツケソウ再生地案内パネル設置	3名	2日	3	×	
	各登山道/パトロール(ごみ拾い)	3名	2日	1	×	
	シモツケソウ再生地除草作業・案内パネル撤去	4名	1日	3	○	
9月	各登山道/パトロール(ごみ拾い)	3名	2日	1	×	
	山頂ドリーネ内の植生調査(山頂周辺より植物の種子採取)	4名	1日	1	×	
10月	各登山道/パトロール(ごみ拾い)	3名	2日	1	×	
	山頂ドリーネ内の植生調査(山頂周辺より植物の種子採取)	4名	1日	1	×	
11月	表登山道鉄杭柵・ロープの撤去	5名	1日	4	○	
	山頂ドリーネ内の植生調査(山頂周辺より植物の種子採取)	4名	1日	3	×	
	各登山道/パトロール(ごみ拾い)	3名	2日	1	×	
	シモツケソウ再生地ネット下ろし	4名	2日	4	△	
		165名	72日			

延べ日数 72日
延べ人数 391名

2019年再生協議会助成作業
2020年再生協議会助成金申請作業